

平成 28 年度通年指定管理者モニタリング調査について

I 平成 28 年度（通年）指定管理者の管理運営状況のモニタリング概要

1 実施日時

平成 29 年 10 月 4 日（水） 午前 10 時から午後 4 時まで

2 実施方法

事前に提示された資料に基づき、下記によりモニタリング調査を実施した。

- ・ヒアリング
- ・関係書類確認

3 モニタリング担当者

健康福祉部障害福祉事業課県立施設改革班 3 名

4 ヒアリング対象者

事務局長、施設長、マネージャー

5 スケジュール概要

| 時 間 | モニタリング内容 |
|-------------|----------------------------------|
| 10:00～10:10 | ○モニタリング趣旨説明 |
| 10:10～15:00 | ○ヒアリング（事務局長・施設長・マネージャー） ○書類確認 |
| 15:00～15:20 | ○県担当者、モニタリング結果等打合せ |
| 15:20～15:30 | ○モニタリング所感伝達 |
| 15:30～16:00 | ○書類確認 |

Ⅱ モニタリングの評価基準

(指定管理者の管理運営状況のモニタリングに関するガイドラインによる)

■各項目の評価の基準（例）

各項目について、「S、A、B、C」で評価する。

表 1

| 基 準 | 評価 | 対応数値 |
|---|----|------|
| 事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上 | S | 3 |
| ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満 | A | 2 |
| 一部分を除き、事業計画どおりである 一部分を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満 | B | 1 |
| 事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満 | C | 0 |

※施設の特性等に応じて基準を決定するが、できる限り本表を基本とすること。

■総合評価の基準（例）

各項目の評価を表1「対応数値」に従い数値化し、以下に当てはめ総合評価を行う。

表 2

| 総合評価 | 基 準 |
|---------|---|
| 優 良 | ・すべての項目が2.0以上で、各項目の数値の平均が2.5以上の場合 |
| 良 好 | ・各項目の数値の平均が2.5以上であるが1.0以下の項目がある場合 ・各項目の数値の平均が2.0以上 2.5未満の場合（ただし、1.0以下の項目は全体の3割以内） |
| 一部良好でない | ・各項目の数値の平均が2.0以上だが、1.0以下の項目が全体の3割を超える場合 ・各項目の数値の平均が1.5以上 2.0未満の場合 |
| 良好でない | ・各項目の数値の平均が1.5未満の場合 ・0点の項目がひとつでもある場合 ・【重要項目】に1.0以下の項目がひとつでもある場合 ・1.0以下の項目が全体の7割以上の場合 |

※施設の特性等に応じて基準を決定するが、できる限り本表を基本とすること。

「優良」「良好」「一部良好でない」「良好でない」の4段階評価は原則として変更しないこと。

【第三者評価の結果を反映させる場合】

- ① 各外部有識者の評価を表2「対応数値」に従い数値化し、平均を算出する。
- ② 平均した数値が2.5以上の場合はS評価、1.5以上2.5未満の場合はA評価、0.5以上1.5未満の場合はB評価、0.5未満の場合はC評価とし、各項目の評価とする。
- ③ ①により算出した平均を表3に当てはめ、総合評価とする。